

講義内容

1 時間 30 分

講義 1：調達の基本	16 分
講義 2：ISO 9001：2015 調達に関する要求事項（8.4）	9 分
講義 3：調達管理の効果的な運用方法	9 分
講義 4：新規外部提供者の評価・選択方法	10 分
講義 5：現地調査の方法 第三者監査	19 分
講義 6：契約の締結と取引の実施	5 分
講義 7：外部提供者の管理方法	8 分
講義 8：外部提供者への支援・指導 管理の方式の改善	13 分

講義 1：調達の基本

16 分

頁 NO.

調達とは	4
組織と調達先の関係	5
調達管理の対象	6
調達プロセス	7
調達における品質保証の基本	8
(1) 調達先の評価と選択	
(2) 受入検査／検収	9
検査適用の考え方	10
(3) 調達先の指導・育成	11
(4) 品質の側面から見た SCM（Supply Chain Management）	12
サプライチェーン管理の問題例	13
(5) グローバル調達	14

講義 2：ISO 9001：2015 調達に関する要求事項（8.4）

9 分

頁 NO.

8.4 外部から提供されるプロセス、製品及びサービスの管理	2
8.4.1 一般	
8.4.2 管理の方式及び程度	4
8.4.3 外部提供者に対する情報	6

講義 3：調達管理の効果的な運用方法

9分

頁 NO.

調達管理の運用方法	2
調達方針の策定	3
調達方針の例	4
調達計画の策定	6
調達する製品・サービスの仕様の確定/ 調達要求事項の明確化	7

講義 4：新規外部提供者の評価・選択方法

10分

頁 NO.

調達品（カタログ品／外注品）	2
① 概況調査	3
② 調達先の一次評価	4
③ 詳細調査	
実地調査での確認事項	6
④ 評価・選択	8

講義 5：現地調査の方法 第三者監査

19分

頁 NO.

第三者監査の目的	2
・ 外部提供者とのコミュニケーションの場の提供	
・ 組織が提示した要求事項に対する適合性の評価	3
・ 外部提供者に対する未然防止の機会の提供による品質向上、コスト改善	
・ 組織が提示した要求事項の妥当性の評価	4
・ 外部提供者の能力の成熟度レベルの把握	
・ 監査員の MS 及び固有技術の維持によるノウハウの継承	
第三者監査のチェックリスト	5
■ 準備段階のチェックポイントの例（QC 工程表）	
■ 実地段階のチェックポイントの例（QC 工程表）	6
■ 監査結果（工程管理）の例	7
■ 監査報告書の例	8
■ フォローアップ監査様式の例	9
■ 外部提供者の能力評価の例	10

講義 6：契約の締結と取引の実施	5分	頁 NO.
契約の締結		2
■ 契約事項の例		3
取引の実施		5

講義 7：外部提供者の管理方法	8分	頁 NO.
外部提供者の管理方法		2
コミュニケーションによる問題解決		3
外部提供者とのコミュニケーションの機会		4
満足度評価		5
満足度評価の例		6
表彰制度		7
表彰制度の例		
表彰の基準と例		8

講義 8：外部提供者への支援・指導 管理の方式の改善	13分	頁 NO.
教育・訓練に関する支援・指導		2
是正処置・未然防止のプロセス／統計手法		
固有技術		3
管理技術／ISO MS の構築・運営		4
改善に関する指導・支援		5
① 評価結果を活用した改善活動		
② 目標達成に必要な改善活動		6
改善活動のステップ ステップ1～4		7
③ 改善活動の組織体制		8
管理方式の改善		9
まとめ		10